

- ◇住宅用火災警報器の設置は5月31日までに…… 2面
- ◇簡易耐震診断の申込を受付…… 2面
- ◇西宮市展の作品募集…… 3面
- ◇西宮人形劇まつりを開催…… 3面
- ◇水道特集 …… 4・5面
- ◇フラワーフェスティバルを開催…… 8面

●発行(毎月10・25日) / 西宮市役所: 〒662-8567 六湛寺町10-3 ☎0798・35・3151(代表) ●ホームページ <http://www.nishi.or.jp/>
 ●編集/総合企画局市長室広報課 ☎0798・35・3400 ✉vo_kouhou@nishi.or.jp ●携帯サイト「ふるむ西宮」<http://www.nishi.or.jp/i/>



生物多様性にしのみや戦略の策定へ

西宮市は、大阪、神戸という大都市の中間にありながら、市の北部には六甲山系の山並み、南部には夙川や武庫川をはじめ、多くの野鳥が飛来する甲子園浜や香櫛園浜など、豊かな自然に恵まれており、多様な動植物が生態系を構成しています。市は30年先を見通した上で、このような環境や多様な生態系を保全するための指針として、「(仮称)生物多様性にしのみや戦略」を今年度中に策定しようとして検討を重ねています。問合せは環境学習推進グループ(0798・35・3821)へ。

生物多様性とは?
 今、地球上には分かっていないだけで約175万種の生物がいますが、未だ発見されていない種も数多くいるといわれています。これら生物は山や川、海などさまざまな環境の中で、支え

○生態系の多様性
 甲子園浜の干潟、甲山の湿原、船坂の棚田、武庫川の渓谷など、さまざまな種類の自然があること。

○種の多様性
 タヌキやトンボ、スミレなどの動植物のほか微生物に至るまで、さまざまな生き物がいること。

○遺伝子の多様性
 同じ種でも多様な個性があること。異なる遺伝子をもつことにより、環境の変化や病気のまん延が起きても、絶滅する可能性が低くなります。

市内にいるさまざまな動植物(右上からゲンジボタル、モリアオガエル、サギソウ、マアザミ)

市長からのメッセージ
 本市は平成15年12月、全国に先駆けて「環境学習都市宣言」を行いました。宣言では、西宮の豊かな自然環境を次世代に引き継ぎ、持続可能なまちづくりを進めていくために、私たち一人ひとりが環境問題に関心をもち、身近なところから行動していくことを表明しています。

一人ひとりができることを

この精神のもと、本市では市民、事業者と連携を図りながら、同宣言の原動力となった子どものエゴ活動「地球ウォッチングクラブ(EWC)」をはじめ、各地域で環境課題などについて協議するエゴコミュニティ会議の設置、自然



環境センターなどの学習拠点を整備するなど環境学習の取り組みを進めています。また、生物多様性を確保し市民が自然と身近に親しめるよう、生物保護地区などの制限地区を設けるなど、自然緑地や水辺環境の保全・整備に努めています。今後このような取り組みを積極的に推進し、市民、事業者、行政が知恵を出し合い、参画と協働のもと人と自然が共生するまちづくりを目指します。

なぜ生物多様性が必要?
 私たちは暮らしのさまざまな場面で生物から恩恵を受けています。生活面においては、野菜や肉などの食料をはじめ、きれいな水や空気は生物によってもたらされるものです。安全面においては、森林が雨による土砂の流出を防止するなどの働きをします。また、四季の変化や自然と

相まって、文学や芸術が育まれるなど文化面での効果もあります。こうした事態に対応するため、本市では、生物保護地区や自然保護地区の指定を行っています。

甲子園浜生物保護地区では、干潟に渡り鳥がやってくる4・5月の2カ月間、人の立ち入りを制限し、野鳥の保護を図っています。生物保護地区(甲山湿原)では、市民ボランティアが間伐作業や落ち葉かきなどを行い、市民との協働で湿原の保全活動をしています。また、社郷山では、事業者が社会貢献活動の一環として、里山整備を行うなど、市民、事業者、行政が一体となった取り組みを展開しています。

今後の対応を検討
 将来にわたって生物多様性を保全するためには、こうした取り組みを体系的に整理し、基本指針を作成する必要があります。本市では、「(仮称)生物多様性にしのみや戦略」を策定するため、昨年4月に西宮市生物多様性地域戦略策定協議会を設置し、検討を重ねています。協議会での検討内容は、市のホームページに掲載しています。

合い競争しながら生活しています。このような関わりやつながりが「生物多様性」です。生物多様性には「生態系」「種」「遺伝子」の3つのレベルを左記参照しがあり、これらが複雑に絡み合い、バランスのとれた状態が維持されます。

直面する危機に 対応するために
 しかし近年、地球上での種の絶滅スピードはここ数百年で100倍〜1000倍に加速しているといわれており、生物の多

様性に及ぼす影響が懸念されています。こうした事態に対応するため、本市では、生物保護地区や自然保護地区の指定を行っています。

